

IOT導入容易

中小向け新サービス

久野金属

久野金属工業（愛知県常滑市、久野忠博社長、0569・43・8801）は、中小製造業向けにIOT（モノのインターネット）を簡単に導入できるサービスを4月に始める。専用の送信機をプレス機に取り付け、稼働率や停止時間を見える化。利用者はデータを生産改善に役立てられる。送信機5台導入時で1台当たり月額1万1000円と安価で、中小企業が採用しやすい。新サービス「IOT GO（アイ・オー・ジー・ゴー）」は月額料金のほかに、設置費用が別途必要となる。送信機はレンタルで提供する。送信機がプレス機稼働時に発するパルス信号を読み取って、サーバーに送信。サーバーが信号を

日々の稼働率を調査。その月のプレス機の平均稼働率が日中で58%と、取り付け前の同年6月の32%と比べ大幅に改善した。「毎日状

況を把握し続けることで改善への意識が高まった」（久野功雄専務）としている。

通常、自社でIOTシステムを構築すると数百万円の費用が必要になる場合もあるという。中小企業にとつては負担が大きいのが導入の課題だった。

もとに、プレス機が動いた回数、1回動くのにかかった時間、稼働率などを割り出す。解析結果はパソコンやタブレット端末などで見られる。センサーの不具合があった場合は、インターネット経由で遠隔地からメンテナンスでき、利用者の手を煩わせない。2017年7月に実施した社内試験では、